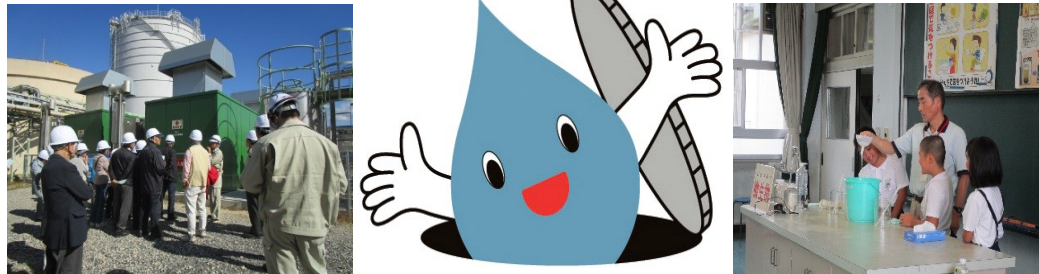




- 1 面 30 年度下水道サポーター活動
2 面 下水道関連施設見学会
3 面 下水道関連施設見学会
4 面 ご挨拶・新規サポーター

編集・発行 広島市下水道局経営企画課
サポーター会員数/ 62 人 平成 31 年 1 月 1 日現在



平成三十年度下水道サポーターの活動
小学校出前講座の支援や施設見学会などでお疲れ様でした。
平成三十年度は延べ 174 人の下水道サポーターの皆さまが活躍されました。今年度は、西日本豪雨災害のため下水道フェアが中止になるなど、活躍の場が狭く感じられた方もおられると思いますが、これからも引き続きよろしくお願いします。

下水道サポーター平成 30 年度活動報告

※青字の数字は延べ人数

活動項目	活動内容	参加人数	実施日
小学校出前講座	出前講座を実施した 45 校の小学校で講座のサポート	56 名	5 月 7 日～11 月 14 日
出前講座の支援者講習会	小学校出前講座の支援方法の習得	23 名	4 月 19 日 5 月 10 日
施設見学会	西部消化ガス発電施設、大州雨水貯水池の見学	27 名	11 月 2 日
30 年度サポーター総会	活動報告、委員の改選、規約改正など…	25 名	3 月 15 日
運営委員会	20 名の運営委員により、サポーターの活動について協議	43 名	4/19・8/29・1/30

下水道は、市民生活を快適にし、地域の生活環境を守り、川や海の水質を保全するとともに、浸水から都市を守るという大切な役割を果たしています。

また、下水を処理するときに発生する下水汚泥を燃料化して火力発電所で発電に利用する、あるいは下水汚泥を減量化するときに発生する消化ガスを発電に利用するなどのエネルギー対策も実施しています。

しかし、下水道施設はそのほとんどが地下にあるため、市民の方々は、マンホールの蓋くらいしか目にする機会がなく、我々、下水道に携わる職員の PR 不足もあり、下水道への理解は十分とはいえません。

下水道サポーターの皆様には、下水道に対するご意見、ご提言などいただき、今後の下水道のあり方を一緒に検討していきたいと考えております。

経営企画課 池庄司 幸臣

第 27 期下水道サポーター養成講座を開講しました。



2 月 5 日から 2 月 28 日まで 4 回に分けて「第 27 期下水道サポーター養成講座」を行いました。今期は 5 名の方々が受講され、次の 4 人の方々がサポーター協議会に入会されました。

川原 改造 様 杉田 由美子 様
小辻 一洋 様 菅 宏 様



〔不思議な微生物〕 クマムシは不死身か？

クマムシは、体長が 0.5～1mm 程度。水がなくても 120 年も生き、マイナス 100 度でも死なず、真真空に近い状態でも、強い放射線を当てても生きていますが、この強さは、乾眠状態（自分で体を乾燥させて動かなくなった状態）のときに発揮されます。ですから、動いているクマムシにお湯をかけたりすると普通に死んでしまいます。

下水道関連施設サポーター見学会

11月2日、下水道サポーターの皆さんで、西部消化ガス発電施設・汚泥燃料化施設及び大州雨水貯水池の見学にきました。



(リサイクル満点いろいろと有効利用できる下水道)
下水汚泥を脱水・乾燥・炭化することで石炭代替燃料に。
下水汚泥を発酵することで可燃性の消化ガスが発生し、消化ガスの力で発電事業に。



西部水資源再生センターでは消化ガス発電事業・汚泥燃料化施設による汚泥の資源化によるエネルギーの再生、大州雨水貯留池では自然災害の防止と雨水利用による安心安全な都市実現へ取り組まれている一端が理解できました。



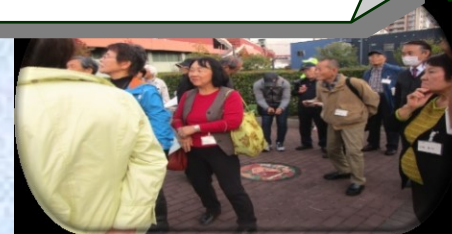
消化ガス発電事業について再生可能エネルギーを有効利用とし、これからの事業として発案して実行された方々研究者はすばらしいと思います。大州雨水貯留池では少し臭いが鼻に付いて気分が悪かったです。

洗練された美しい建築物、格好よかったです。説明も、バッチリです。



広島市に消化ガス発電で 1.5 億円年間に入るといふのもびっくり。

これらの施設は今まで何回か見学した事がありましたが、今日の見学が一番よく理解でき勉強になりました。プロとはいえど、あらゆる質問にも答えられて流石!!
昼食の弁当、安い上に豪華完食しました(食材のバランスも Good!!)



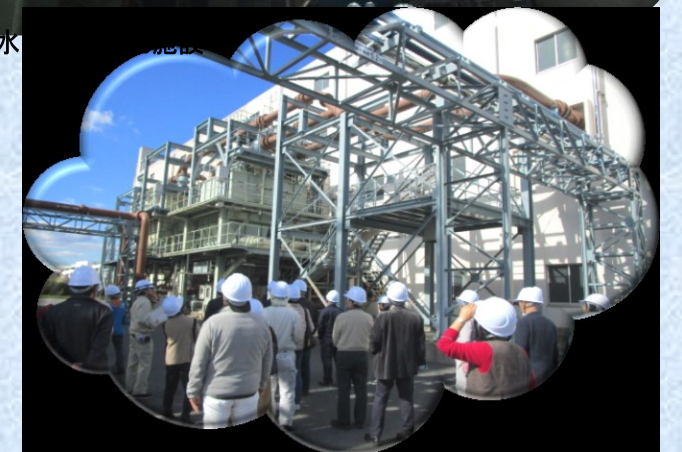
今日一番感動したのは 340 円弁当でした。

大州雨水貯留池は大きな空間で地下に居ることを忘れる場所でした。
いろいろと考えをめぐらした施設に感心しました。

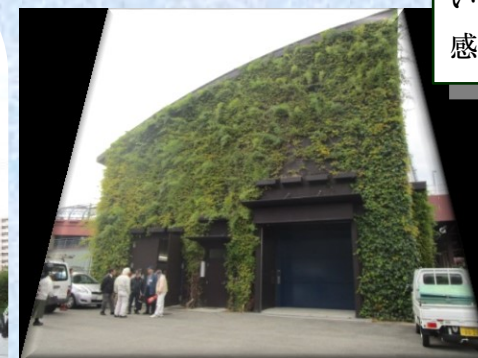
球場の下で 1 万 5 千 m³ の雨水がためられるようになった。
水の再生の方法で植木とか他にもっと利用できそうと思いつつ日本の利用度が 1.3% というのを知った。



西部下水



小学生に出前講座も素晴らしいことですが、もっと大人にもぜひいろいろな機会に水の大切さについてPRしていただきたい。



下水処理より、雨水処理の方が先に考えられたことは初めて知った。七月の豪雨で雨水の脅威をみせつけられたため雨水を危なくない形で流すことの重要性を感じているこのごろである。
大州貯留池はダイナミックな施設で、人々の生活を守ってくれており心強いと思った。

